

なか ばる

中原特別支援学校の特徴や誇れるもの

- ・知的障害、肢体不自由、病弱を対象とする 特別支援学校である。
- ・県東部地区の特別支援教育の拠点であると同時に、県内唯一の病弱特別支援学校として、障害のある子どもたちの「身近な地域での豊かな生活の実現」を目指して、地域の学校や団体、医療機関等と連携し、日々の教育活動を行っている。
- ・みやき町内の学校や各種団体との結び付きが強く、地域活動での交流や学校行事への地域の方々の参加も活発である。
- ・中原特別支援学校といえば「和太鼓」。約30年間、全校で「和太鼓」演奏に取り組んでおり、学校や地域の行事、交流活動の折にその雄姿を披露し、地域の方々に大変喜ばれている。

ナーミー活動（地域交流活動 小学部、中学部）

みやき町中原校区の地域交流「ナーミー活動」は、「なかばるの みんな、みんな なかよし」を合い言葉に平成9年から今年度（平成28年度）11月の第55回まで20年間続いている。当初は、地域の河川清掃から始まり、現在は中原地区の小、中学校、老人クラブ、地域の大学サークルなどの団体と本校児童生徒が年2回、一堂に会し、歌やゲームを通じた交流活動を行っている。この活動から地域の方々の本校行事への参加など、交流が広がっている。

ゲームで交流



「なかばるのみんな」一堂に会して

学校所在地:三養基郡みやき町原古賀7262番地1

連絡先(0942-94-3575)

生徒数:本校舎168名、分校舎41名、鳥栖田代分校30名
計 239名

校外販売会（中学部、高等部）

地域の商業施設において、作業学習で製作、生産した木工・紙・布製品、食品（菓子類）、野菜等の販売学習を行っている。

地域の方々は毎回、楽しみにしておられ、コミュニケーションを深め、広げる貴重な機会となっている。



大盛況の高等部販売会

ふれあいもちつき会（小学部、中学部）

冬の年中行事として定着している、

「ふれあいもちつき会」

腕自慢の地域の皆さんに手ほどきを受け、本校の児童生徒も年々上達。



じょうずになったね。

会食



会食ではその成長を喜び合い、つきたてのおいしいもちを味わう。年の暮れから新しい年を迎える時期ならではの取組である。

学校の誇れるものの紹介



学校のシンボル「くすのき」

全校で取り組む和太鼓



本校キャラクター「さんくす」

中原特別支援学校の特徴

- ・知的障害、肢体不自由、病弱の3障害種を対象とする特別支援学校である。
- ・県東部地区の特別支援教育の拠点であると同時に、県内唯一の病弱特別支援学校として、障害のある子どもたちの「身近な地域での豊かな生活の実現」を目指して、地域や医療機関等と連携し、日々の教育活動を行っている。
- ・みやき町内の学校や各種団体との結び付きが強く、地域活動での交流や学校行事への地域の方々の参加も活発である。

学校所在地:三養基郡みやき町原古賀7262番地1

連絡先(0942-94-3575)

生徒数:本校舎165名、分校舎39名、鳥栖田代分校33名
計 237名

作業製品販売

本校中学部、高等部では学校行事や地域の商業施設における販売会において、作業学習で製作、生産した木工・紙・布製品、食品(菓子類)、野菜等の販売学習を行っている。



販売を通して地域の人々とのコミュニケーションを深め、「楽しみ
にしています」と毎回好評を得ている。

中学部校外販売会

ナーミー活動(地域交流活動)

みやき町中原校区の地域交流「ナーミー活動」は「なかばるの みんな、みんな なかよし」を合い言葉に平成9年に始まり、今年度(平成27年度)11月の第53回まで18年間続いている。当初は、地域の河川清掃から始まり、現在は中原地区の小、中学校、老人クラブ、地域の大学サークルなどの団体と本校児童生徒が年2回、一堂に会し、歌やゲームを通じた交流活動を行っている。この活動から地域の方々の本校行事への参加など、交流が広がっている。



ナーミー活動



地域の方々とのふれあいもちつき会

みやき町「和太鼓フェスティバル」への参加



高等部和太鼓の様子

さが段階チャレンジ事業によるみやき町の昔話を活かした演奏会「風の神さまのおんなさる九千部山への思い」で町の伝統芸能「風天太鼓」と本校高等部生徒による和太鼓チームが共演している。

学校の誇れるものの紹介



子どもたちを見守る くすのきと
本校キャラクター「さんくす」



全校で取り組む和太鼓